

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11285

和歌山市美術展覧会事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	和歌山市美術展覧会事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市美術展覧会審査会条例		関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市における美術工芸の振興と鑑賞愛好の精神を高め、市民の文化水準の向上を図る。		洋画・日本画・書道・写真・彫塑・工芸の6部門の公募による美術展覧会を開催する。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		開催期間 6月23日～7月18日 第1会期 日本画・工芸・いけ花 第2会期 書道 第3会期 洋画 第4会期 写真・彫塑 開催場所 市民会館 展示室・市民ホール	開催期間 8月24日～9月19日 第1会期 日本画・工芸・いけ花 第2会期 書道 第3会期 洋画 第4会期 写真・彫塑 開催場所 和歌山城ホール 展示室	開催期間 6月28日～7月24日 第1会期 日本画・工芸・いけ花 第2会期 書道 第3会期 洋画 第4会期 写真・彫塑 開催場所 和歌山城ホール 展示室	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,940	2,719	2,998	2,072	3,218	2,817	3,004	0	0	0
伸び率(%)	△0.7%	13,495%	2%	△23.8%	7.3%	36%	△6.7%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	4,034	2,095	3,504	4,827	4,872	0	8,093	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,034	2,095	3,504	4,827	4,872	0	8,093	0	0
国庫支出金	1,052	1,023	998	1,028	0	0	918	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	625	467	795	522	1,295	500	795	0	0	0
一般財源(税等)	1,263	1,229	1,205	522	1,923	2,317	1,291	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.52	0.27	0.45	0.62	0.62	0.00	1.03	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料2,058千円 賞賜金299千円 印刷製本費255千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
応募者数		人	目標値	500	500	500	500	
			実績値	355	385	416		
			達成度(%)	71%	77%	%	%	
開催日数		日	目標値	20	20	24	24	
			実績値	20	24	24		
			達成度(%)	100%	120%	%	%	
入賞者数		人	目標値	70	70	70	70	
			実績値	51	48	48		
			達成度(%)	73%	69%	%	%	
入場者数		人	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	
			実績値	2,415	3,620	3790		
			達成度(%)	71%	106%	%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いたため、出品数及び入場者数がともに増加した。今後も市民の文化活動の発表の場として実施することで、市民の文化水準の向上を図る。
見直し・改善内容	さらなる応募者数と入場者数の増加に向けて、事業の広報徹底に取り組む。